

平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月6日

上場会社名 日本特殊塗料株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4619 URL <http://www.nttoryo.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 酒井 万喜夫
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 業務本部長 (氏名) 田谷 純 (TEL) 03-3913-6134
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績 (平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	8,662	6.7	14	△81.7	546	33.6	489	40.7
25年3月期第1四半期	8,116	25.5	79	—	409	—	347	208.8

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 1,479百万円(295.4%) 25年3月期第1四半期 374百万円(476.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	22.14	—
25年3月期第1四半期	15.74	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	41,392	22,620	53.2
25年3月期	38,762	21,268	53.4

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 22,030百万円 25年3月期 20,688百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	4.00	—	6.00	10.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	4.00	—	6.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想 (平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	16,100	△1.5	50	△84.0	800	△14.1	700	△5.8	31.66
通期	34,500	5.2	400	△13.4	1,800	△0.3	1,400	△9.3	63.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料4ページ「(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 有

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料4ページ「(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

26年3月期1Q	23,611,200株	25年3月期	23,611,200株
26年3月期1Q	1,499,343株	25年3月期	1,499,196株
26年3月期1Q	22,111,931株	25年3月期1Q	22,105,823株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政権交代による財政出動や金融政策の実施による円高是正、株価の上昇を背景に明るい兆しが見られるものの、欧州の金融不安や新興国での経済成長鈍化など、先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループでは、新製品の開発や新規顧客の開拓など販売活動を強化するとともに、原価改善、生産性の向上など収益改善に取り組んでまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、前連結会計年度末より連結の範囲に含めた在外子会社の売上高の増加もあり、売上高は86億6千2百万円（前年同期比6.7%増）となりました。

損益面につきましては、原材料価格の高止まりや固定費の増加などで営業利益は1千4百万円（前年同期比81.7%減）、経常利益は海外関係会社の業績拡大や円高是正による持分法による投資利益の増加により5億4千6百万円（前年同期比33.6%増）、四半期純利益は4億8千9百万円（前年同期比40.7%増）となりました。

セグメント別の業績の状況は次のとおりであります。

① 塗料関連事業

当セグメントの業績につきましては、顧客ニーズに合致した新製品の開発による新規顧客の開拓と省エネ対策など環境対応型塗料を主力とした売上拡大とともに原価改善、生産性の向上に取り組みました。

品種別売上高につきましては、建築・構築物用塗料のうち、床用塗料は前年同期比5.5%、防水用塗料は6.1%とそれぞれ堅調に増加しましたが、屋根材は前年同期比△6.9%と減少しました。一方、工事関連売上高は集合住宅大規模改修工事の受注拡大により前年同期比63.2%と大きく増加しました。

この結果、当セグメントの売上高は40億3千2百万円（前年同期比21.5%増）セグメント利益は1億4千1百万円（前年同期比37.0%増）となりました。

② 自動車製品関連事業

当セグメントの業績につきましては、前年のエコカー補助金の終了や日中関係の影響による国内自動車の減産の影響もあり売上高は減少しました。利益面では徹底したコスト削減に取り組んだものの円安進行等による原材料の高止まりなど厳しい状況が続きました。

品種別売上高につきましては、制振材は在外子会社の売上加算もあり前年同期比2.0%増加しましたが、防錆塗料は前年同期比△4.0%、吸・遮音材は△6.0%とそれぞれ減少しました。

この結果、当セグメントの売上高は46億2千6百万円（前年同期比3.5%減）、セグメント損失は1億2千8百万円（前年同期は2千5百万円のセグメント損失）となりました。

③ その他

保険代理業の売上高は3百万円（前年同期比1.9%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ26億2千9百万円増加し、413億9千2百万円となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金の増加5億3千万円、有形固定資産の増加6億1千5百万円、株式市況の回復による投資有価証券の増加14億8千9百万円によるものです。

(負債)

負債合計は、前連結会計年度末に比べ12億7千7百万円増加し、187億7千1百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金の増加3億8千1百万円、借入金の増加1億3千8百万円、流動負債その他の増加6億5千4百万円によるものです。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ13億5千2百万円増加し、226億2千万円となりました。主な要因は、利益剰余金の増加3億5千6百万円、株式市況の回復によるその他有価証券評価差額金の増加5億2百万円、為替換算調整勘定の増加4億8千3百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績は概ね想定範囲内で推移しているため、平成25年5月8日に発表いたしました連結業績予想を修正しておりません。

なお、業績予想は現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更等)

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、有形固定資産（平成10年4月1日以降に取得した建物(附属設備を除く)、工具、器具及び備品のうち量産金型、及びリース資産を除く）の減価償却方法について、従来は定率法によっておりましたが、当第1四半期連結会計期間より定額法に変更しております。

当社グループは、近年の積極的な海外投資等の事業展開を踏まえて、前連結会計年度末に新たな「中期経営計画」を策定し、その過程において固定資産の償却方法についての見直し作業を実施致しました。

この結果、塗料関連事業及び自動車製品関連事業のいずれにおきましても、既存の国内生産設備は、今後稼働状況が安定していくことが見込まれ、また、新たな「中期経営計画」における国内生産設備に関する投資は、汎用性が高く長期に亘り平均的かつ安定的に稼働する設備に限定されていることから、定額法による減価償却の方法を採用することが、固定資産の費消状況の経済的実態を反映できると判断するに至りました。

この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べて当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は23,582千円それぞれ増加しています。なお、セグメント情報に与える影響については、当該箇所に記載しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,023,845	4,059,376
受取手形及び売掛金	10,025,310	10,555,535
商品及び製品	1,052,261	1,125,725
仕掛品	259,908	261,765
原材料及び貯蔵品	894,140	908,661
繰延税金資産	347,654	346,919
その他	398,832	198,414
貸倒引当金	△2,595	△1,800
流動資産合計	16,999,357	17,454,598
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,395,672	3,568,030
機械装置及び運搬具(純額)	2,320,575	2,495,634
土地	3,373,793	3,373,793
建設仮勘定	561,236	643,586
その他(純額)	1,014,462	1,200,528
有形固定資産合計	10,665,741	11,281,572
無形固定資産	203,372	226,703
投資その他の資産		
投資有価証券	9,707,738	11,197,027
繰延税金資産	149,748	35,675
その他	1,040,969	1,200,705
貸倒引当金	△4,154	△4,164
投資その他の資産合計	10,894,302	12,429,243
固定資産合計	21,763,415	23,937,519
資産合計	38,762,773	41,392,117

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,541,617	7,923,351
短期借入金	1,654,971	2,165,656
リース債務	13,744	19,776
未払法人税等	140,505	80,388
役員賞与引当金	32,210	—
その他	2,487,136	3,141,691
流動負債合計	11,870,185	13,330,865
固定負債		
長期借入金	2,716,256	2,344,133
リース債務	54,197	79,920
退職給付引当金	2,792,497	2,806,988
その他	61,372	209,620
固定負債合計	5,624,323	5,440,662
負債合計	17,494,508	18,771,527
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,753,085	4,753,085
資本剰余金	4,362,942	4,362,942
利益剰余金	10,844,253	11,200,751
自己株式	△495,938	△495,998
株主資本合計	19,464,342	19,820,780
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,829,523	2,332,019
為替換算調整勘定	△605,845	△121,871
その他の包括利益累計額合計	1,223,678	2,210,147
少数株主持分	580,244	589,661
純資産合計	21,268,264	22,620,590
負債純資産合計	38,762,773	41,392,117

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	8,116,990	8,662,444
売上原価	6,576,928	7,095,819
売上総利益	1,540,062	1,566,624
販売費及び一般管理費	1,460,229	1,551,992
営業利益	79,833	14,632
営業外収益		
受取配当金	31,372	38,840
持分法による投資利益	333,997	446,264
その他	34,124	69,630
営業外収益合計	399,495	554,734
営業外費用		
支払利息	22,741	19,322
為替差損	32,432	—
その他	14,921	3,158
営業外費用合計	70,095	22,480
経常利益	409,233	546,886
特別利益		
固定資産売却益	—	54
受取保険金	2,192	—
特別利益合計	2,192	54
特別損失		
固定資産処分損	6,841	4,589
投資有価証券売却損	11	—
会員権売却損	500	—
特別損失合計	7,352	4,589
税金等調整前四半期純利益	404,074	542,351
法人税等	43,490	57,472
少数株主損益調整前四半期純利益	360,583	484,878
少数株主利益又は少数株主損失(△)	12,587	△4,782
四半期純利益	347,996	489,661

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	360,583	484,878
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△202,783	497,183
為替換算調整勘定	—	54,757
持分法適用会社に対する持分相当額	216,380	442,742
その他の包括利益合計	13,596	994,683
四半期包括利益	374,180	1,479,562
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	361,593	1,476,131
少数株主に係る四半期包括利益	12,587	3,430

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額(注)3
	塗料関連	自動車 製品関連	計				
売上高							
外部顧客への売上高	3,317,855	4,795,600	8,113,455	3,534	8,116,990	—	8,116,990
セグメント間の内部売上高 又は振替高	900	—	900	—	900	△900	—
計	3,318,755	4,795,600	8,114,355	3,534	8,117,890	△900	8,116,990
セグメント利益又は セグメント損失(△)	103,624	△25,452	78,172	1,661	79,833	—	79,833

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理業であります。

2 調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

3 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

この変更によるセグメント利益又はセグメント損失(△)に与える影響は軽微であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額(注)3
	塗料関連	自動車 製品関連	計				
売上高							
外部顧客への売上高	4,032,038	4,626,937	8,658,976	3,468	8,662,444	—	8,662,444
セグメント間の内部売上高 又は振替高	900	—	900	—	900	△900	—
計	4,032,938	4,626,937	8,659,876	3,468	8,663,344	△900	8,662,444
セグメント利益又は セグメント損失(△)	141,995	△128,866	13,128	1,503	14,632	—	14,632

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理業であります。

2 調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

3 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更等に記載のとおり、当社グループは、有形固定資産(平成10年4月1日以降に取得した建物(附属設備を除く)、工具、器具及び備品のうち量産金型、及びリース資産を除く)の減価償却方法について、従来は定率法によっておりましたが、当第1四半期連結会計期間より定額法に変更しております。

この変更に伴い、従来の方法に比べて、当第1四半期連結累計期間の「塗料関連」のセグメント利益が4,264千円増加し、「自動車製品関連」のセグメント利益が19,317千円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。